

# まちづくり活動の活性化方策について



R4.10.31(月) 第3回西脇市まちづくり推進審議会

1

前回の審議会の振り返り

- ・ 前回の審議会の内容
- ・ グループワーク形式で検討いただいた内容
- ・ 前回の審議会のまとめ

2

本日の協議事項

- ・ まちづくり活動団体への支援の方針について
- ・ まちづくり活動団体への具体的な支援策について

3

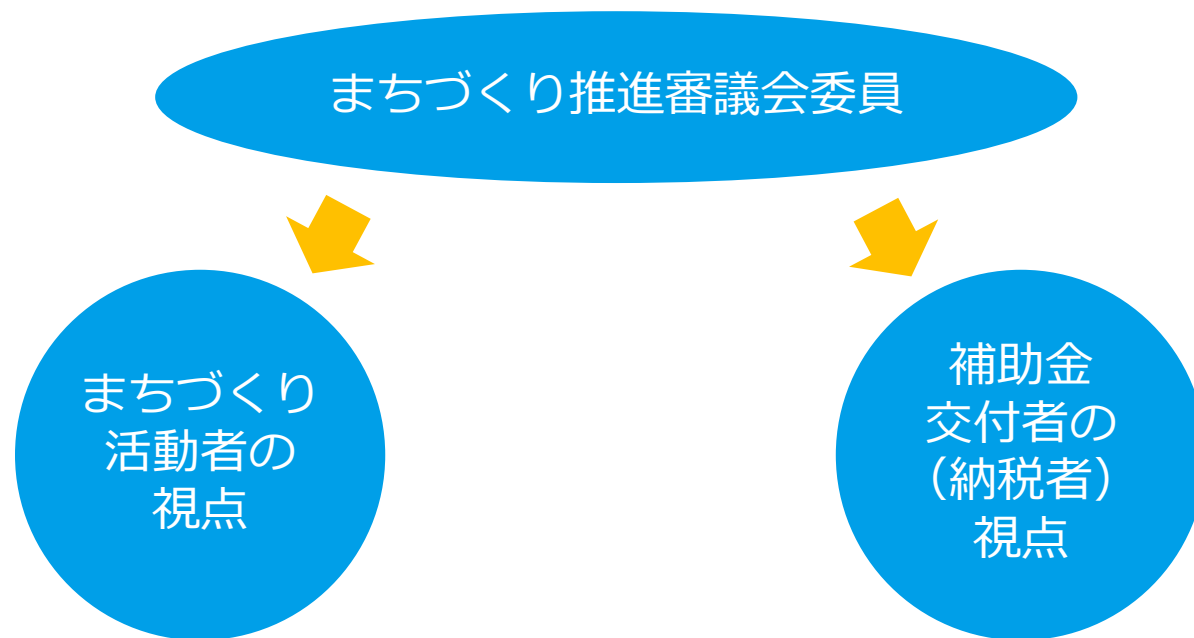
まとめ

西脇市市民提案型まちづくり事業を活用したまちづくり活動の活性化方策について



前回の審議会では、

2つのグループにわかれ、  
グループワークを実施



## ①共通テーマ

- ・まちづくり活動団体の事業や活動状況の評価

## ②グループ別テーマ

まちづくり活動者：まちづくり活動がより円滑に進むこと、または活性化するためには、どのような制度改正や運用の改善が必要であるか

補助金交付者（納税者）：まちづくり活動者に対する要望やまちづくり活動者の課題を解決させるためには、どのような制度改正が必要であるか

## 【テーマ】

- ・まちづくり活動団体の事業や活動状況の評価
- ・まちづくり活動がより円滑に進むこと、または活性化するためには、どのような制度改正や運用の改善が必要であるか

### 《評価》

- ・活動団体の会員確保が難しく、団体の維持が大変である
- ・当該補助制度の活用後の活動計画が不足している
- ・まちづくり活動に関する広報活動が不足している
- ・地域自治協議会をはじめとする他団体との連携が組織作りに重要である
- ・当該補助制度の審査時に実施する活動内容のプレゼンテーションにより学びがあった
- ・活動資金の獲得が難しい



### 《改善策》

- ・活動や補助制度の見える化の促進
- ・各団体や行政との連携を促進するコーディネーターのような存在が必要
- ・団体に寄り添い支援していくような仕組みの構築

## 【テーマ】

- まちづくり活動団体の事業や活動状況の評価
- まちづくり活動者に対する要望やまちづくり活動者の課題を解決させるためには、どのような制度改革が必要であるか

## 《評価》

- 広報活動の推進に取り組むべき
- 活動団体の収支の明確化を図り、市民にまちづくり活動を認めてもらう必要がある
- 会員の高齢化などにより、まちづくり活動が硬直化し、団体の輪が広がっていない
- 積極的な活動ができるような組織作りをしないとイケない
- 似たような目的の団体同士が交流し、協力しながら事業を進める必要がある



## 《改善策》

- ひとりよがりの広報活動ではなく、広く市民に知られるような広報活動を行う
- 賛助会員や若い世代の会員の獲得など活動団体の拡大や他団体との交流、うまく活動できている団体からの情報収集などを行うことで、団体の活性化につなげる
- 活動団体の事務局体制の強化

# 前回の審議会のまとめ

今回の議論を、次の3つの観点でのまとめを実施

**M** マインド(熱意)・メンバー      **B** バジエット(お金)      **S** スキル(能力)

**M** マインド：熱意は高く、多様性があるという評価が見受けられた。  
メンバー：会員の高齢化により、意識が硬直化しているところがある。  
→**制度の見直しなどにより、改善することは難しい。**

**B** バジエット：収支の透明化が必要であるという話はあったが、補助金額が少ないなどの意見は無かった。

**S** スキル：広報、活動の見える化、活動の継続性等が課題  
→**これらはサポート(交流)により、スキルを高め、改善できる。**

誰がサポートするのか？

- ・ 中間支援組織を含む行政
  - ・ 同じく助成を受けている団体
  - ・ 過去に助成を受けた先輩団体
- 他団体のサポートは交流にもなる**

具体的な  
取組は？

本日の  
協議事項

支援者

市（中間支援組織を含む）

同僚・先輩団体その他  
今まで関わりのない方々

内容

- 自主的で公益的なまちづくり活動に対する補助制度の継続
- 市が持つ資源（広報にしろわきやホームページ等）を活かした支援
- 中間支援組織による実務経験を活かした活動支援

- 団体同士の交流を手軽に行える環境の構築
- 市民に対し、まちづくり活動を広く周知

それぞれのまちづくり活動団体  
に応じた支援の継続が必要

まちづくり活動団体同士の交流  
とすそ野の拡大が必要



# まちづくり活動団体への具体的な支援策

## 交流とすそ野の拡大

- ・まちづくり活動団体同士の**交流**（同僚・先輩団体によるサポート）  
まちづくり活動団体同士が、気軽に相談し合える機会やツールがあれば、交流しやすい？

### ➡️ どんな機会やツールが望ましい？

- ・まちづくり活動の**すそ野の拡大**（今まで関わりがない方々によるサポート）  
これまで活動報告会を実施しているが、発表団体同士の交流に留まっており、市民に広く活動が周知できていない。

### ➡️ 人が集まる場でPRや活動を試みては？どんな場がある？

## 市による継続的な支援

### 中間支援組織を含む市による継続的なサポート

各団体が持つ課題などに対し、中間支援組織が実務経験に基づいたアドバイスを実施。また、市側では広報ツール（広報やホームページ）があるため、それを活かした支援を実施。

- ・ 中間支援組織への相談やセミナーへの参加などを義務づけることは、団体の負担となる可能性があるため、**任意での相談業務を継続実施**
- ・ **市（中間支援組織を含む）は、各団体の広報活動を支援**